



Speaker
Saul Becker



Speaker
Sara Gowen

東京講演

イギリスのヤングケアラー・ケアラー 支援の現状と実践から学ぶ

今年6月、ヤングケアラーの定義が法制化され施策が進み、国だけではなく地方自治体の体制も動き出している。英国で長きにわたってヤングケアラー支援の基礎を築かれてきた二人の講師を招聘し、ヤングケアラー・ケアラー支援の理念及びそれを実現するために必要な施策や活動について教授いただき、日本のヤングケアラー・ケアラー支援の展望を考えていく機会としたい。

2024年12月7日(土) 13:30~16:30

成蹊大学 6号館

定員 先着200名
日本ケアラー連盟 会員・学生 無料
一般 1,000円(当日支払い)

主催・申し込み先

一般社団法人日本ケアラー連盟

 <https://carersjapan.com/>



事前申込制 12月1日まで
左の二次元コードを読み取ると
申込フォームにアクセスできます

イギリスのヤングケアラー・ケアラー支援の現状～2014年の法律から10年たって～

Saul Becker (ソウル・ベッカー) 氏 プロフィール

子ども家庭領域を専門とする教授。英国マンチェスター・メトロポリタン大学 (MMU) 健康教育学部長。サセックス大学の前学長、バーミンガム大学の前副総長兼社会科学部長。

ケンブリッジ大学、サセックス大学、バーミンガム大学、ノッティンガム大学、ラフバラ大学で教授職を歴任し、2022年5月にMMUに着任。

ヤングケアラーの研究、政策、実践の世界的リーダーであり、この分野を開拓し、30年にわたりケア責任を負う子どもや若者に携わってきた。研究責任者として複数の機関から56の研究賞を受賞。18冊の著作を含む570の出版物や招待基調講演があり、世界中の政府、政策立案者、実務家に助言を与えている。MMUでの職務と並行して、英国を代表するケアラーの慈善団体ケアラーズ・トラストの大使、認定ソーシャルワーカー、コミュニティ・オーガナイザーでもある。その仕事は10本のテレビドキュメンタリーで紹介されている。

最近では、英国大学協会 (Universities UK) により「国民のライフセーバー」(「人生を変えるような変化をもたらしている大学を拠点とする100の個人またはグループ」) の1人に選ばれた。

Twitter: @profsaulbecker LinkedIn: <https://www.linkedin.com/in/saul-becker-354a9610a/>

シェフィールド・ヤングケアラーズの活動

Sara Gowen (サラ・ゴウエン) 氏 プロフィール

1997年からイギリスを拠点にヤングケアラー支援を行うチャリティー団体、シェフィールド・ヤングケアラーズのCEOを務める。ケアが当事者にもたらす影響を軽減させる取り組みについて、話題提供を行う。

■成蹊大学へのアクセス

〒180-8633

東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅より
徒歩約15分

吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より
関東バス約5分『成蹊学園前』下車

■お問い合わせ

一般社団法人 日本ケアラー連盟
ヤングケアラープロジェクト (担当 田中)
youngcarer@carersjapan.com



■京都講演のご案内

「イギリスに学ぶ子ども・若者ケアラー支援」

2024年12月6日 (金) 10:00～16:30 立命館大学 朱雀キャンパス 大講義室

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 (JR・地下鉄「二条駅」下車、徒歩2分)

主催 子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト (YCAP)